

新型コロナウイルスワクチンにおいて死亡として報告された事例の概要

- 新型コロナウイルスワクチンにおいて、予防接種後開始後より今回の審議会までに死亡として報告された事例の概要は以下のとおりであった。

ファイザー社ワクチン

- 予防接種開始2021年2月17日から前回の審議会までに集計された6月13日までに、ファイザー社ワクチンの副反応疑い報告において、死亡として報告された事例は277件であった。
- また、今回の審議会（6月27日時点、131日間）までに、死亡として報告された事例は453件であった。
- 症状の概要に記載された死因等は、心不全58例、虚血性心疾患41例、出血性脳卒中37例、等※であった。
※同一症例に複数の死因等の記載がある場合は、いずれも計上。
- なお、6月28日から7月2日までに、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例は101件であった。

武田/モデルナ社ワクチン

- 武田/モデルナ社ワクチンに関して、今回の審議会（5月22日から6月27日）までに死亡として報告された事例は1件であった。
- なお、6月28日から7月2日までに、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例は1件であった。